



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 科研製薬株式会社

コード番号 4521 URL <http://www.kaken.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大沼 哲夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 渡邊 史弘

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 03-5977-5002

平成26年11月28日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	44,232	1.2	8,806	19.7	8,677	20.3	5,639	22.6
26年3月期第2四半期	43,712	0.4	7,358	△3.2	7,211	△2.5	4,598	△0.4

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 6,603百万円 (40.4%) 26年3月期第2四半期 4,702百万円 (6.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年3月期第2四半期	67.28	—
26年3月期第2四半期	53.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	106,193		69,411		65.4	
26年3月期	106,465		68,096		64.0	

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 69,411百万円 26年3月期 68,096百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年3月期	—	24.00	—	24.00	48.00
27年3月期	—	27.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	91,400	2.8	16,800	5.8	16,400	5.7	10,700	9.9	129.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	96,879,461 株	26年3月期	101,879,461 株
27年3月期2Q	13,999,445 株	26年3月期	17,380,750 株
27年3月期2Q	83,820,341 株	26年3月期2Q	85,843,793 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信とあわせて、当社ホームページに掲載する予定であります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は44,232百万円(対前年同期比1.2%増)、営業利益は8,806百万円(対前年同期比19.7%増)、経常利益は8,677百万円(対前年同期比20.3%増)、四半期純利益は5,639百万円(対前年同期比22.6%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 薬業

医薬品・医療機器につきましては、薬価改定の影響などにより、関節機能改善剤「アルツ」が減収となり、癒着防止吸収性バリア「セプラフィルム」は横ばいとなりましたが、爪白癬治療剤「クレナフィン」の発売、ライセンス収入の増加、後発医薬品の伸長などにより増収となりました。

農業薬品につきましては、殺菌剤「ポリオキシシン」が売上を伸ばし、増収となりました。

その結果、売上高は43,005百万円(対前年同期比1.2%増)、セグメント利益(営業利益)は8,072百万円(対前年同期比21.6%増)となりました。

なお、海外売上高は2,966百万円となりました。

② 不動産事業

不動産事業の主たる収入は文京グリーンコート関連の賃貸料であります。売上高は1,226百万円(対前年同期比0.9%減)、セグメント利益(営業利益)は734百万円(対前年同期比1.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は106,193百万円となり、前連結会計年度末に比べ271百万円の減少となりました。これは主に、自己株式の取得に伴う現金及び預金の減少によるものであります。

負債は36,781百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,586百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少によるものであります。

また、純資産は69,411百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,315百万円の増加となりました。これは主に、四半期純利益の計上によるものであります。

自己資本比率は、65.4%(前連結会計年度末64.0%)となりました。

② 連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ3,205百万円減少し、14,251百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、3,175百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、795百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、5,586百万円の支出となりました。これは主に、自己株式の取得によるものであります。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期につきましては、「セブラフィルム」「リビディル」の伸長に加え、爪白癬治療剤「クレナフィン」、後発医薬品も寄与し増収増益を見込んでおり、平成26年5月12日に発表した業績予想は変更していません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が464百万円減少し、利益剰余金が299百万円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,644	8,038
受取手形及び売掛金	25,363	27,023
有価証券	7,812	6,213
商品及び製品	6,855	7,347
仕掛品	1,641	2,081
原材料及び貯蔵品	4,724	4,812
その他	2,460	2,510
貸倒引当金	△2	—
流動資産合計	58,501	58,027
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,770	17,352
その他（純額）	11,746	11,219
有形固定資産合計	28,516	28,571
無形固定資産		
無形固定資産	598	533
投資その他の資産		
投資有価証券	10,994	11,993
その他	7,854	7,067
貸倒引当金	△0	—
投資その他の資産合計	18,848	19,060
固定資産合計	47,964	48,166
資産合計	106,465	106,193

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,713	12,612
短期借入金	4,195	4,195
未払法人税等	3,628	3,150
引当金		
賞与引当金	1,277	1,247
その他の引当金	603	568
その他	4,637	5,826
流動負債合計	28,056	27,598
固定負債		
引当金		
その他の引当金	3	—
退職給付に係る負債	9,493	8,663
その他	816	519
固定負債合計	10,312	9,182
負債合計	38,368	36,781
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,853	23,853
資本剰余金	11,587	11,407
利益剰余金	49,789	48,686
自己株式	△17,656	△16,021
株主資本合計	67,574	67,925
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,398	3,040
退職給付に係る調整累計額	△1,876	△1,554
その他の包括利益累計額合計	521	1,485
純資産合計	68,096	69,411
負債純資産合計	106,465	106,193

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	43,712	44,232
売上原価	22,419	21,535
売上総利益	21,293	22,696
販売費及び一般管理費		
給料	3,942	3,824
賞与及び賞与引当金繰入額	791	900
退職給付費用	444	446
研究開発費	3,478	3,374
その他	5,275	5,344
販売費及び一般管理費合計	13,934	13,890
営業利益	7,358	8,806
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	116	122
その他	32	35
営業外収益合計	154	161
営業外費用		
支払利息	29	14
退職給付会計基準変更時差異の処理額	262	262
その他	8	14
営業外費用合計	301	291
経常利益	7,211	8,677
特別利益		
固定資産売却益	—	7
その他	2	—
特別利益合計	2	7
特別損失		
固定資産除却損	11	18
ゴルフ会員権売却損	—	8
その他	15	3
特別損失合計	26	29
税金等調整前四半期純利益	7,187	8,654
法人税等	2,589	3,015
少数株主損益調整前四半期純利益	4,598	5,639
四半期純利益	4,598	5,639

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,598	5,639
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	103	641
退職給付に係る調整額	—	322
その他の包括利益合計	103	964
四半期包括利益	4,702	6,603
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,702	6,603

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,187	8,654
減価償却費	1,227	1,175
退職給付引当金の増減額(△は減少)	213	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	135
受取利息及び受取配当金	△121	△126
支払利息	29	14
有形固定資産除却損	11	18
売上債権の増減額(△は増加)	4,792	△1,660
たな卸資産の増減額(△は増加)	△787	△1,019
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,862	△1,101
その他	△1,005	511
小計	8,685	6,603
利息及び配当金の受取額	121	126
利息の支払額	△30	△14
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△2,524	△3,539
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,252	3,175
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,111	△749
無形固定資産の取得による支出	△29	△47
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
その他	△10	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,152	△795
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△4,170	—
自己株式の純増減額(△は増加)	△1,892	△3,559
配当金の支払額	△1,896	△2,026
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,958	△5,586
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,858	△3,205
現金及び現金同等物の期首残高	16,920	17,457
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,062	14,251

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

① 自己株式の消却

当社は、平成26年5月30日付で、平成26年5月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を5,000,000株、5,195百万円消却いたしました。

② 自己株式の取得

当社は、当第2四半期連結累計期間において、平成26年5月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を1,590,000株、3,498百万円取得いたしました。

この結果、資本剰余金が181百万円、利益剰余金が5,013百万円それぞれ減少し、当第2四半期連結会計期末における資本剰余金は11,407百万円、利益剰余金は48,686百万円、自己株式は13,999,445株、16,021百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客への売上高	42,475	1,237	43,712	—	43,712
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	158	158	△ 158	—
計	42,475	1,396	43,871	△ 158	43,712
セグメント利益(営業利益)	6,636	721	7,358	—	7,358

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客への売上高	43,005	1,226	44,232	—	44,232
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	161	161	△ 161	—
計	43,005	1,387	44,393	△ 161	44,232
セグメント利益(営業利益)	8,072	734	8,806	—	8,806

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。